



2020年8月6日

各 位

会 社 名 サッポロホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 尾賀 真城
コード番号 2501
上場取引所 東証・札証
問 合 せ 先 経営企画部長 小松 達也
TEL 03(5423)7407

通期業績予想の修正およびその他の営業費用の計上に関するお知らせ

当社は2020年8月6日開催の取締役会において、2020年5月14日に公表いたしました「2020年12月期第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」で未定としておりました2020年12月期連結業績予想の修正を行い、新型コロナウイルス感染症に関する費用を「その他の営業費用」に計上することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2020年12月期連結通期業績予想数値（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上収益	事業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)*1	—	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	444,500	1,000	△ 7,900	△ 6,500	△ 6,500	△ 83.44
増減額(B-A)	—	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	491,896	11,724	12,208	3,820	4,356	55.92

*1: 2020年5月14日公表

(2) 理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であることを理由に未定としておりましたが、国内における緊急事態宣言の解除や海外における経済活動の再開の動きなど直近の経営環境や業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定し、公表することといたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業活動および業績への影響は2020年4月から5月を底に2020年6月以降は回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念を背景とした経済・消費への影響は今後も残り、主に酒類事業や食品飲料事業において引き続き影響を受けるものと仮定し算出しております。

2. その他の営業費用の計上

新型コロナウイルス感染症の影響による工場の操業低下、店舗の休業等で発生した固定費（人件費、減価償却費、賃借料他）等につきまして、新型コロナウイルス感染症による損失として、3,357百万円を「その他の営業費用」に計上いたしました。

なお、本件につきましては、本日公表いたしました「2020年12月期第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。

※将来に関する記述等についての留意事項

上記の予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

以 上